

(機密性 1)

2 教育・研究活動

(7) 学位論文・卒業研究(令和6年度)

① 大学院学校教育研究科修了者の学位論文題目一覧

令和6年度

| 所 属 | 学 位 論 文 題 目 |
|----------------------------------|--|
| 学校教育専攻 学校教育深化コース (芸術深化・美術) | 美術科の授業における「イラストアプリ」の活用に関する一考察 ー芸術科美術 I「私の描きたい風景」の授業実践を通してー |
| | 動物彫刻の制作におけるプロセスの考察 ー犬をモチーフとした木彫を中心としてー |
| 教育支援高度化専攻 心理臨床研究コース (心理臨床) | 学校規模による別室登校支援の違いについての検討 |
| | 青年期の心理的well-beingは感謝, 心理的負債感, ゆるしと関連するか? |
| | 中学校在籍時の学習動機づけおよび学業適応感と不登校傾向の関連の検討 ー大学生を対象とした質問紙調査からー |
| | 心理ネットワークモデルを用いたマインドフルネス傾向と不適応なパーソナリティ特性との関連の検討 |
| | 幸せへの恐れ・幸せの壊れやすさの信念が社交不安傾向を高める認知的プロセスの検討 ーBivalent Fear of Evaluationモデルに着目してー |
| | 青年期の学業場面における不適応的なマインドワンダリングの抑制に関する検討ーマインドワンダリングに関する暗黙理論の個人差に着目してー |
| | 中学生のキャラの有無及び受け止め方とストレス及び共同体感覚の関連についての検討 |
| | 現代青年における援助要請スタイルと精神的健康との関連 ー友人関係の特徴に着目してー |
| | コロナ禍の高校生の友人関係形成プロセスの検討 ー大学生を対象に回想法を用いてー |
| | 高等学校の学校組織特性が「チーム学校」支援に与える影響の検討 |
| | 小学校教員におけるワーク・エンゲージメントとソーシャル・サポートとの関連 |
| | 多元性に基づく自己意識尺度改訂版の作成 ーコミュニケーションに対する自信の検討ー |

(機密性1)

② 学校教育学部卒業者の卒業研究題目一覧

令和6年度

| 所 属 | 論 文 題 目 | 指導教員氏名 |
|---|--|--------|
| 学校教育専修 学校教育実践コース | 協働的な学習場面における居場所感を視点とした言動分析に関する事例的研究 | 水落 芳明 |
| | 特別支援学校在籍児童生徒と通常学級在籍児童の交流における社会的包摂に関する事例研究 | 赤坂 真二 |
| | オンラインホワイトボードとマルチアングル映像を活用した遠隔授業研究の検討 | 榊原 範久 |
| | 『学び合い』における教師の資質能力に関する研究 | 西川 純 |
| | 交流場面における児童の居場所感の違いによる発話に関する事例研究 | 赤坂 真二 |
| | 小学校体育科における学習者の運動有能感に関する事例的研究 ～ルールの工夫を視点として～ | 水落 芳明 |
| | ラップ初心者がラップ創作時に働かせる言語能力について ～プロラッパーの言葉の選定方法と比較して～ | 片桐 史裕 |
| | 運動部活動の休日の段階的な地域移行に関する研究～クラブ化の利点と課題～ | 西川 純 |
| | 小規模校における指導の在り方に関する考察 ～小規模校に在学する生徒の意識調査を通して～ | 西川 純 |
| | インクルーシブな学級を構築する担任教師の指導行動に関する事例研究 | 赤坂 真二 |
| | 共食の観点から学校給食の在り方を見つめなおす ～子ども食堂の事例調査をもとにした一考察～ | 大島 崇行 |
| | 新人女性教師の保護者対応への困り感に関する研究 | 阿部 隆幸 |
| | リーダーの選出方法による構成員の活動とリーダーシップへの影響 —1か月間の歌唱における参与観察を通して— | 桐生 徹 |
| | 学習者自身の成績を上げる際の、定期テストの優先度について | 片桐 史裕 |
| | 教員が抱える他教員との人間関係における悩みとその解決方法の事例的研究 | 西川 純 |
| | 対話場面における心理的安全性の高さが児童の発話に及ぼす影響に関する事例研究 | 赤坂 真二 |
| | 高校生は、ワークシート課題へのコメントをどのように受け取っているのか。 ～「質問」「賞賛」「意見」の3種類のコメントに絞って～ | 片桐 史裕 |
| | 本来感の高い学級における教師の指導行動に関する事例研究 | 赤坂 真二 |
| | 児童のシェアド・リーダーシップを醸成する担任教師の指導行動に関する事例研究 | 赤坂 真二 |
| | 小学校高学年リズムダンスにおける動画を組み込んだルーブリック教材の開発と評価 | 榊原 範久 |
| リズムダンスの授業における児童の恥ずかしさに関する事例的研究 | 関原 真紀 | |
| 休み時間における教員の過ごし方と子どもとの関わり —小学校教員へのインタビューを通して— | 阿部 隆幸 | |
| 中学校部活動におけるいじめの被害者が求める支援 —大学生を対象とした当事者インタビューをもとに— | 阿部 隆幸 | |

| 所 属 | 論 文 題 目 | 指 導 教 員 氏 名 |
|------------------------------------|--|-------------|
| 学校教育専修 先端教科・領域学習コース | 「遊び」における保育者・教師のアフォーダンス | 佐藤 多佳子 |
| | 承認感の違いによる児童の相互承認の発話の具体に関する事例研究 | 赤坂 真二 |
| | 教員を目指す学生と現職教員のブラック的な働き方への認識と改善に向けた行動に関する研究 | 西川 純 |
| | respectを育む古典の学習デザイン —オマージュ的手法を取り入れて— | 佐藤 多佳子 |
| | 詩の「模倣」による創作の事例的研究 | 佐藤 多佳子 |
| | 教師の働きかけが学習者の自己肯定感に与える効果に関する事例的研究 | 水落 芳明 |
| | 座席配置と教育観に関する研究 ～教室環境づくりにこだわりをもつ教師へのインタビュー分析を通して～ | 阿部 隆幸 |
| | 小学校中学年の外国語活動におけるSmall Talkの指導方法 | 大場 浩正 |
| | 紙とデジタルの英語絵本による差異が内容理解に与える影響に関する一考察 —小学校高学年を対象とした読み聞かせの実践から— | 清水 雅之 |
| | 中学校英語科の主体的な学びにおける教師の役割 | 大場 浩正 |
| | 小学校外国語科における児童の自己効力感を高めるための振り返りとフィードバック | 大場 浩正 |
| | 子どもの自然体験を支える公共施設での試み | 渡辺 径子 |
| | 小学校教師はいかにインクルーシブな学級経営を行うようになるのか | 藤井 和子 |
| | 外国語学習における児童のつまずきチェックリストの開発 ～担任と外国語専科教師のつまずきへの認知の違いに基づいて～ | 大場 浩正 |
| | 教育における障害の理解のためのアプローチ | 渡辺 径子 |
| | 教育におけるデジタルゲームの活用の試み | 渡辺 径子 |
| | 小学校の外国語専科教師として働く魅力と課題 | 大場 浩正 |
| 外国語学習における児童の不安の実態と不安への向き合い方 | 大場 浩正 | |
| 学校教育専修 現代教育課題コース(学習臨床・ 授業研究) | 学校教育におけるデジタルホワイトボードの機能の検討 ～JAMBOARDの代替を目指して～ | 井上 久祥 |
| | 言語生活とつないで判断・使用する「言葉遣い」の学習材化研究 | 古閑 晶子 |
| | 共感・違和感が軸となる古文入門期の学習材化研究 | 古閑 晶子 |
| | 開かれた美術館と連携した総合的な学習における高校生の学びと変化 | 松本 健義 |
| | 想が深化する詩的読みの学習過程に関する研究 —音読・朗読台本の創作を通して— | 古閑 晶子 |
| | インクルーシブ教育に根ざした「教室での学び方」に関するカリキュラム化の検討 | 河野 麻沙美 |

| 所 属 | 論 文 題 目 | 指導教員氏名 |
|----------------------------------|--|--------|
| | 地理的見方・考え方の育成を目指した地図情報の視覚化教材 | 井上 久祥 |
| | 個別最適な学びを実現するための自己調整学習サイクルの特徴と意義に関する研究 | 野澤 有希 |
| 学校教育専修 現代教育課題コース(発達と教育 連携) | 小学校における絵本の選定と活用 | 蜂須賀 洋一 |
| | 中学時代の達成経験は大学生の自信を高めるのか | 角谷 詩織 |
| | 教師の良心に左右される子どもの貧困対策 —教師の職務範囲に着目して— | 堀 健志 |
| | 児童同士によりよい人間関係を育成するために、自己有用感を高める取り組みを活用した学級経営の在り方 —児童の能動性との関係に着目した教師の働きかけ— | 安藤 知子 |
| | 教師のコミュニケーション能力の向上について —ソーシャルスキルとのかかわりに着目して— | 大前 敦巳 |
| | 中学生の自己期待及び他者期待と現実との不一致による劣等感への影響 | 越 良子 |
| | 大学生における期待された役割遂行時に感じる自分らしさが仲間集団関係満足度に及ぼす影響 | 越 良子 |
| | 障害のある子どもの「交流及び共同学習」に対する教職員の意識 | 辻村 貴洋 |
| | 困難といわれる中、教職に就いた新任教員の現状 | 蜂須賀 洋一 |
| 学校教育専修 現代教育課題コース(道徳・生徒 指導) | 震災後における著名人の慰問が子どもたちの自身の将来展望に与える影響 | 寺戸 武志 |
| | 中学生の対人関係ピリーフが不登校傾向に及ぼす影響 | 寺戸 武志 |
| | 大学生の将来や目標に対する意識が教師志望動機に与える影響 | 山田 智之 |
| | 教員志望者及び教職経験者のタイパ意識と生成AIに対する期待感との関連 | 寺戸 武志 |
| | 小中学生のゲーム利用時間と利用形態・レーティングが将来の対人コミュニケーションと攻撃行動に与える影響 | 寺戸 武志 |
| | 教員志望の学生における親が教員か否かによる志望動機と業務上の課題への捉え方の相違の検討 | 寺戸 武志 |
| | 教育実習生の指導教員に対する感じ方と実習後の教職意識の関係 ～実習エンゲージメントを媒介したモデルの検討～ | 寺戸 武志 |
| 学校教育専修 幼年教育コース | 就学前施設における「手づくり絵本」の創作活動の意義と課題 | 杉浦 英樹 |
| | 模範的とされたイクメンは何を語るか —「イクメンの星」たちの育児体験談に着目して— | 高田 俊輔 |
| | 教職を目指す大学生の自称詞への認識と児童へのかかわりの関連 | 白神 敬介 |
| | 教護院における夫婦職員の役割 —非行第2の波・第3の波に着目して— | 高田 俊輔 |
| | 認定こども園における在園時間の異なる子どもへの保育者の配慮や工夫 | 白神 敬介 |
| | 就学前施設における文字の読み書きに関する保育者の認識 —幼保小接続を見据えた文字の学習場面に着目して— | 高田 俊輔 |

| 所 属 | 論 文 題 目 | 指 導 教 員 氏 名 |
|-------------------------|---|-------------|
| | 幼稚園における未就園児支援の現状と課題 | 白神 敬介 |
| | 1・2歳児の食事場面における摂食拒否に対する保育者の援助 | 杉浦 英樹 |
| | 家庭における描画に対する働きかけと子どもの描画活動の関連性 | 山口 美和 |
| | 5歳児クラスの遊びにおける「休憩場面」についての考察 | 杉浦 英樹 |
| | 保育士と小学校教員における「気になる子」の捉え方と支援の違い | 山口 美和 |
| | 乳児の保護者における子育てアプリの利用状況と機能に対する利用状況 | 山口 美和 |
| | 保護者は幼児教育教材に何を求めているのか —小学校受験を検討しない保護者へのインタビュー調査から— | 高田 俊輔 |
| 学校教育専修 心理臨床コース | 大学生におけるひとりで行われる能力とSNSの依存傾向との関連 | 大宮 宗一郎 |
| | 大学生の友人関係とLINE利用に伴うストレスとの関連 | 宮下 敏恵 |
| | 性格特性と認知的評価の関係に対するレジリエンスの調整効果 | 田中 圭介 |
| | 小学生の居場所感と学校適応の関連—学年差と性差の検討— | 宮下 敏恵 |
| 学校教育専修 教科内容構成コース(国語) | 井上ひさしの自伝的小説に関する比較と考察 | 小埜 裕二 |
| | 相手に気持ちを伝えるにはどのように文字を書けば良いか —気持ちを込めて書くことと文字の大きさの効果— | 押木 秀樹 |
| | 小川未明童話における相互扶助の位相 | 小埜 裕二 |
| | 学習活動における座位姿勢のあり方に関する研究 —書字する際の姿勢を中心に— | 押木 秀樹 |
| | 小川未明『小豚の旅』における大人の童話 | 小埜 裕二 |
| | 宮沢賢治文学における<自然>と<人間> | 小埜 裕二 |
| | 小学校の国語教科書における 実験的説明文の研究 —「ありの行列」「花を見つける手がかり」を対象として— | 渡部 洋一郎 |
| | 「知らんけど」の機能 | 鳴海 伸一 |
| | 国語科教育における「事実」概念と「意見」概念の再考 | 渡部 洋一郎 |
| | 『篁物語』の構想と構造の研究 | 船城 梓 |
| | 中学校教材における比べ読みの指導法と活用法 | 渡部 洋一郎 |
| | 小川未明童話における「時計」 | 小埜 裕二 |
| 学校教育専修 教科内容構成コース(英語) | 日本人英語学習者のKIT母音とTRAP母音の発音練習:シャドーイング時の指示方法の影響について | 橋本 大樹 |

| 所 属 | 論 文 題 目 | 指 導 教 員 氏 名 |
|-------------------------|--|-------------|
| | 日本語が母語の英語学習者によるbecauseの産出:生起位置と習熟度の違いに焦点を当てて | 野地 美幸 |
| | Repair and Mutual Understanding in L2 English Conversation:A Case Study Using Conversation Analysis | ブラウン, アイヴァン |
| | シャドーイングが日本人英語学習者の子音産出に与える効果:系列配置効果とリンキングパターンによる影響 | 橋本 大樹 |
| | Politeness in Commissive Speech Acts:Comparing Cases From Different Genders and Cultural Backgrounds | ブラウン, アイヴァン |
| | 中学校英語における望ましい授業 ー「楽しさ」と「よさ」の観点からー | 渡邊 政寿 |
| | 4コマ漫画を使用した英語インタラクション活動の効果 ～発話量と達成感に注目して～ | 渡邊 政寿 |
| | 英語ライティングにおける評価の仕方に関する考察 ー評価者の英語へのかかわり方の違いに着目してー | 渡邊 政寿 |
| 学校教育専修 教科内容構成コース(社会) | 独立後アメリカにおけるコーヒーハウスの役割に関する一考察 | 下里 俊行 |
| | 主権者教育の現状と課題 | 小島 伸之 |
| | 長岡市宮内駅周辺におけるラーメン店の集積の特徴と背景 | 山縣 耕太郎 |
| | 学童疎開を活用した歴史教材の開発 | 茨木 智志 |
| | 会津若松市における鳥獣被害の変化とその要因 | 山縣 耕太郎 |
| | 北陸新幹線開通による金沢市の都心機能の変容 | 山縣 耕太郎 |
| | プロスポーツの観客動員に影響をもたらす要因についての考察 | 吉田 昌幸 |
| | 「小学校における地域問題を題材にした主権者教育授業開発研究」 | 中平 一義 |
| | 地域課題を活用した主権者教育授業開発研究 | 中平 一義 |
| | 侮辱罪の法定刑の引き上げに関する一考察 | 小島 伸之 |
| | 映像作品における労働の表象とその変化 | 小島 伸之 |
| | 富山県南砺市平・上平地域における学校統廃合の実態 | 志村 喬 |
| | 郷土かるたの歴史を活用した地域の学習 | 茨木 智志 |
| | LGBT理解増進法の成立過程に関する一考察 | 小島 伸之 |
| | 1961年以降のメジャーリーグにおけるキューバ人野球選手のライフストーリーの研究 | 下里 俊行 |
| | 黄表紙を活用した歴史学習の開発 | 茨木 智志 |
| | 戦後における地方民芸運動とその担い手に関する一考察 | 畔上 直樹 |

| 所 属 | 論 文 題 目 | 指 導 教 員 氏 名 |
|---------------------------|---|-------------|
| | 北陸地方における発酵食の展開とその背景 | 山縣 耕太郎 |
| | 生徒の主体性を育む法教育授業開発研究 ―校則改訂と生徒の自己決定権に着目して― | 中平 一義 |
| 学校教育専修 教科内容構成コース(数学) | 算数における主体的・対話的で深い学びを促す授業デザイン | 高橋 等 |
| 学校教育専修 教科内容構成コース(理科) | 日米の小学校理科教科書におけるデータ解釈の取扱いに関する比較検討―表とグラフに着目して― | 山田 貴之 |
| | 浮上しているドローンの重さの研究 | 小川 佳宏 |
| | ジグモの造巣環境の分析 ―土壌と光環境に着目して― | 谷 友和 |
| | る紙型ダニエル電池を用いて中学生が探究的な実験を行う際に生じると考えられる問題点 | 下村 博志 |
| | 半透膜付きテストチューブを用いるダニエル電池の教材開発 | 下村 博志 |
| | 宇宙における星形成活動最盛期の銀河形態調査 | 濤崎 智佳 |
| 学校教育専修 教科内容構成コース(音楽) | F. リストの「演奏会用練習曲《ため息》」の演奏法と表現の考察 | 長谷川 正規 |
| | 中学校段階における吹奏楽合奏の指導法に関する研究 ―吹奏楽の古典的な作品を使用した合奏指導書の作成を通して― | 上野 正人 |
| | UNISON SQUARE GARDEN《シュガーソングとビターステップ》の特徴について | 阿部 亮太郎 |
| | YOASOBI《セブンティーン》の特徴について | 阿部 亮太郎 |
| | X Japan YOSHIKIのドラムプレイの特徴について | 上野 正人 |
| 学校教育専修 教科内容構成コース(保健体育) | バスケットボールにおけるゼロステップはドライブ局面に影響を及ぼすか？ | 直原 幹 |
| | チームスポーツにおけるコートネームの変遷と効果に関する調査研究 | 直原 幹 |
| | 最大酸素摂取量の違いが、ランダム感覚の音刺激に対する反応速度に与える影響 | 池川 茂樹 |
| | ハードルの高さを3段階に設定した学習によるフォーム改善効果の検証 | 長谷川 晃一 |
| | 小学校のベースボール型における「得点の目標を定めるゲーム」が児童の戦術的思考に及ぼす影響 | 土田 了輔 |
| | GPSを用いた自転車走行時の消費エネルギー推定式の検討 | 池川 茂樹 |
| | 「ゲーム構造論」の批判的検討 ―ゲームにおける勝敗の現れについて― | 土田 了輔 |
| | 新潟県上越市における小中学生の徒歩通学距離からみた総運動時間に関する事例的研究 | 直原 幹 |
| | 健康増進のためのサイクリングコースの提案 ―富山県砺波市での地域活性に向けて― | 池川 茂樹 |
| | ディフェンス力向上を目指したバスケットボール・サイドステップ指導法の開発とその効果の実践的検討 | 長谷川 晃一 |

| 所属 | 論文題目 | 指導教員氏名 |
|-------------------------|---|--------|
| 学校教育専修 教科内容構成コース(技術) | micro:bitを利用した小学校の課外活動における体験型プログラミングの教材開発とコース設計 | 岡島 佑介 |